



小型動力ポンプ付軽消防自動車^が寄贈

一般社団法人日本損害保険協会より鳥羽市消防団神島分団に小型動力ポンプ付軽消防自動車1台が寄贈され、1月22日、鳥羽マリナーターミナルで寄贈式が行われました。同協会は、地理的条件から他地域の支援が得られにくい離島の自主消防力充実に協力するため、昭和57年から毎年、離島関係市町村に消防機材を寄贈しています。

寄贈された軽消防自動車は、島の狭い路地にも進入しやすく、火災予防の啓発や消火活動など、島民の安全・安心のために活用されます。



素敵なお雛^{ひな}さまが勢揃い

鳥羽大庄屋かどやで開催中の「かどやのひな祭り」では、江戸時代のお雛さまなど、市内に伝わる伝統的なお雛さまに加え、和紙人形作家・阿部夫美子さんの新作お雛さまや生涯学習教室の陶芸雛などが展示され、訪れるかたの目を楽しませています。

展示期間は3月9日(月)までで、毎週火曜日は休館です。



旧鳥羽小学校などの写真^を展示

旧鳥羽小学校には、明治6年創立以降の写真が多く残されています。その中でも、旧鳥羽小学校の建設当時の写真や真珠王御木本幸吉の講演の様子など、特に貴重な15枚を選び、鳥羽歴史文化ガイドセンターで展示しています。また、明治3年に清水栄二により設計された旧鳥羽小学校校舎の設計図も公開しています。

展示は3月22日(日)まで行われます。



子どもたちへ、備品や黒のりを寄贈

三重県遊技業共同組合鳥羽志摩支部より、市内保育所で使用する備品が寄贈され、1月26日に山口浩二支部長から木田市長へ目録が手渡されました。同支部からの市内各保育所への寄贈は5年連続で、今回は給食用食器487,050円分が寄贈されました。

また2月6日、鳥羽地区黒のり養殖研究協議会から市内小中学校・幼稚園・保育所の給食にと黒のり5,000枚が寄贈されました。同協議会からの寄贈は今年で7回目となり、鳥羽磯部漁業協同組合の藤原常務は「鳥羽のおいしい黒のりを市内の子どもたちに味わってもらいたい」と語ってくれました。